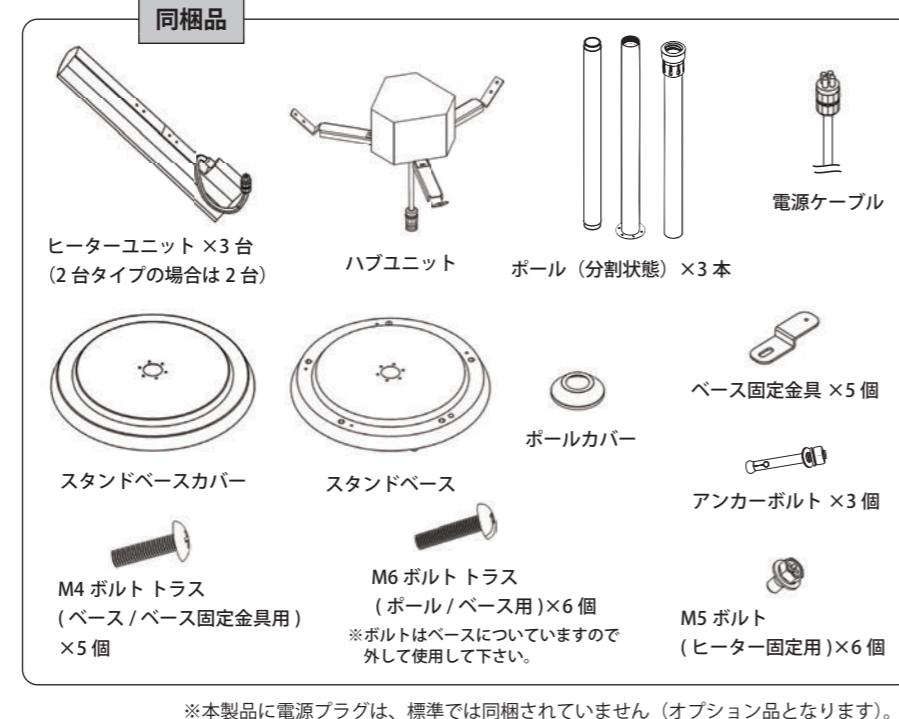
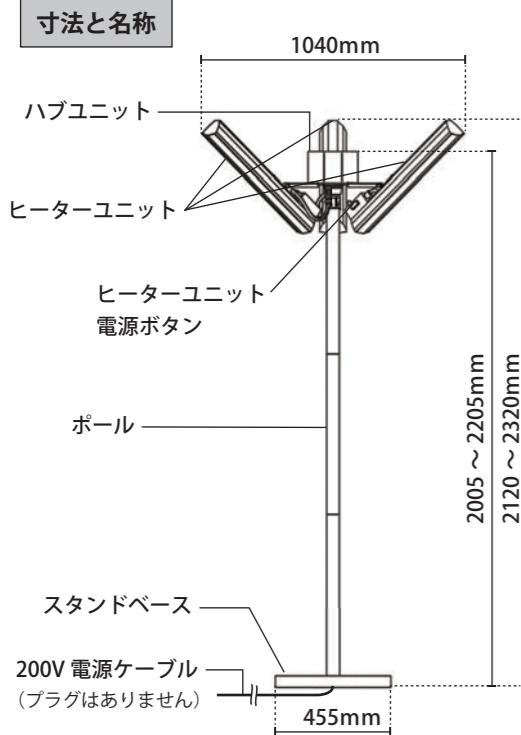


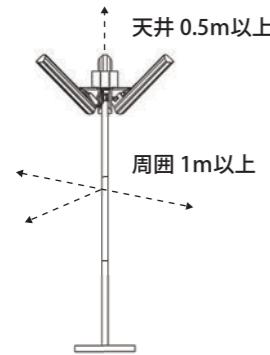
マルチタワーヒーター 施工・取扱説明書

各部の名前と機能



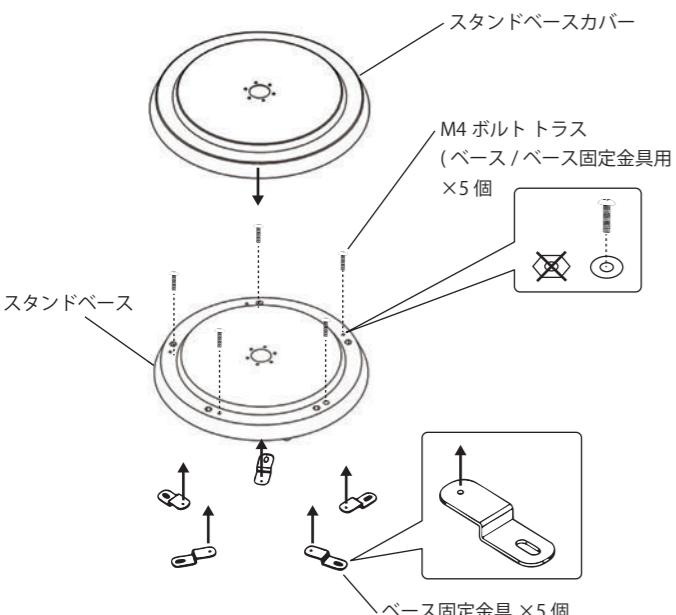
離隔距離

必要離隔：
・周囲：1m以上
・天面：0.5m以上

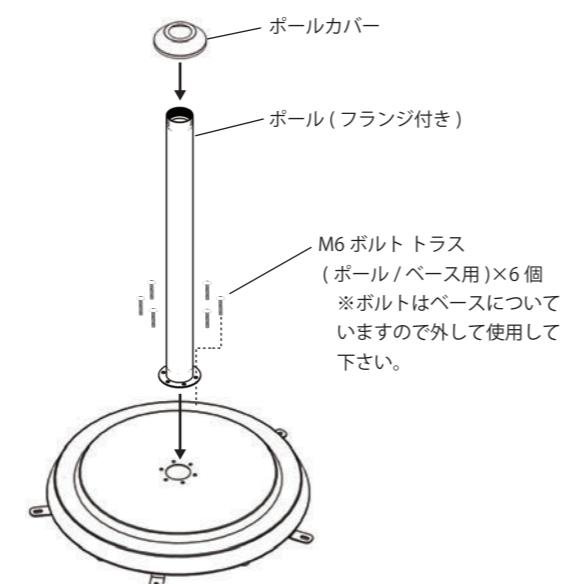


施工・組立手順

① スタンドベースにベース固定金具を取り付けます。
スタンドベースカバーをのせます。

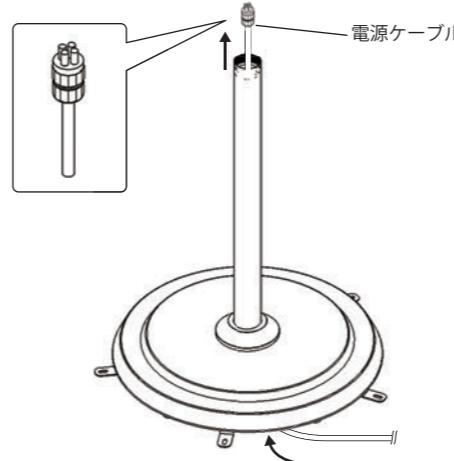


② 上からフランジ付きのポールを取付けます。
その後ポールカバーを取り付けます。

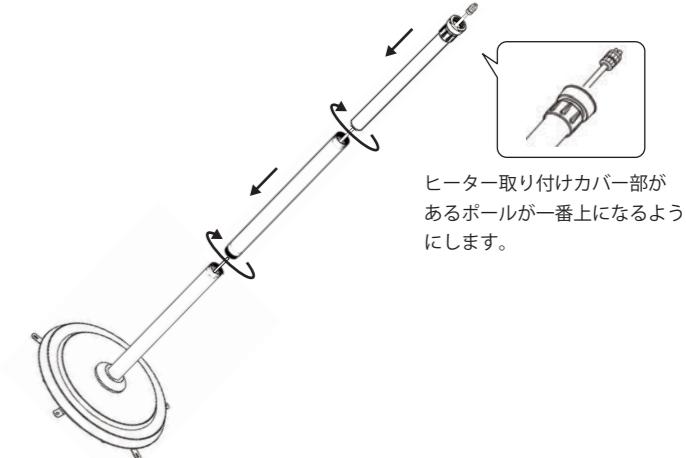


施工・組立手順

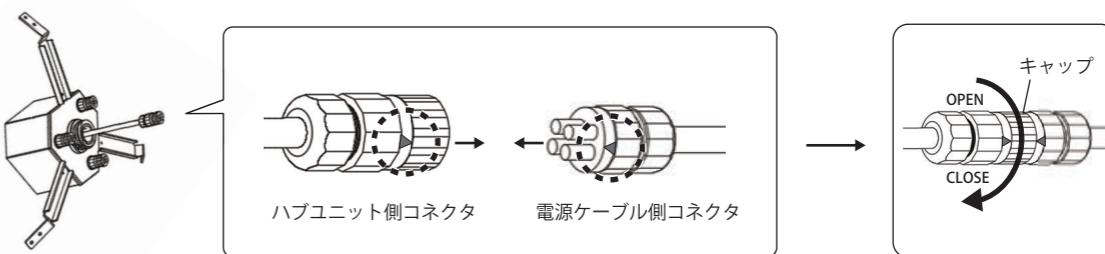
③ ポールに底面より電源ケーブルを通します。



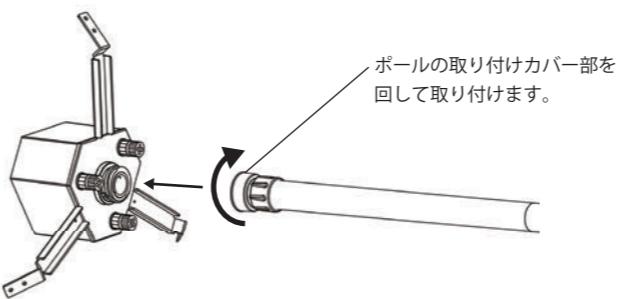
④ 残り 2 本のポールを取付け、電源ケーブルを通します。



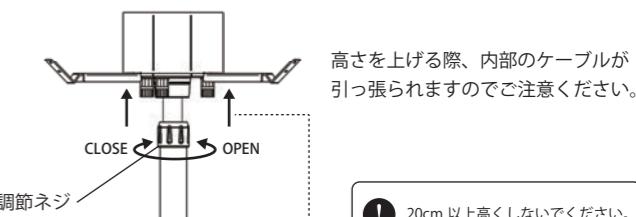
⑤ 電源ケーブル側コネクタの▲マークと、ハブユニット側コネクタの▲マークとの位置を合わせて奥まで差し込みます。
この時に斜めに差し込まないように注意して下さい。その後▲マーク間のキャップを回して接続します。



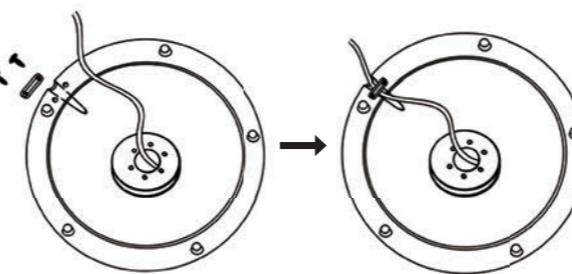
⑥ ポールとハブユニットを取り付けます。



⑦ 高さ調節が必要な場合は、高さ調節用ネジを緩め、高さを調節します。
※必ず脚立を使用してください。
特に調節する必要がなければそのまま高さ調節ネジをしめます。

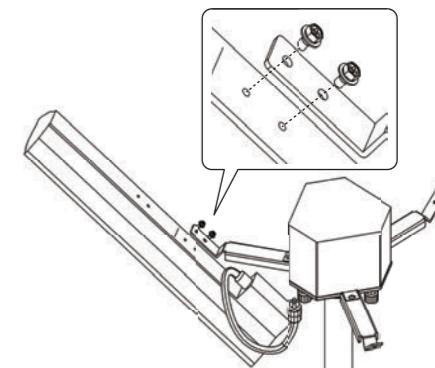


⑧ スタンドをいったん寝かせ、スタンドベース裏でケーブルを固定します。



※ケーブルを固定する部品はスタンドベース裏側についていますので外して使用して下さい。

⑨ スタンドを立てて、ヒータユニットを M5 ボルトで取り付けます。

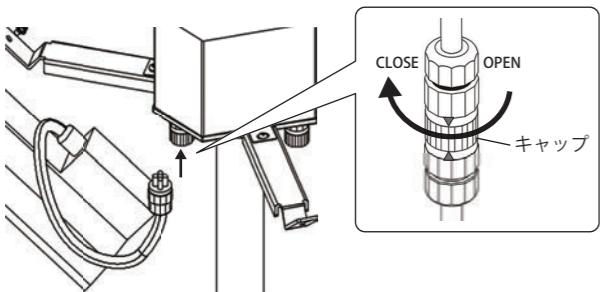


施工・組立手順

⑩ヒーターユニットのコネクタを接続します。

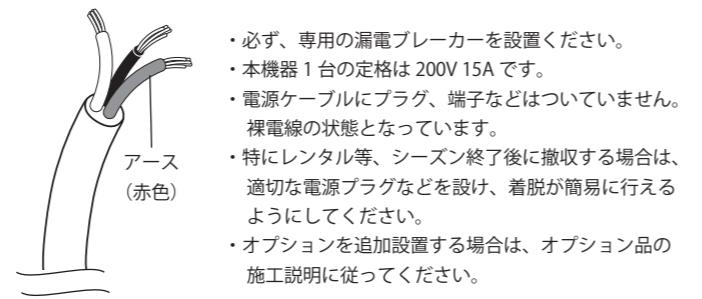
残りのヒーターユニットも⑧、⑨の手順を繰り返して取り付けます。

※コネクタの取り付け方法詳細は④参照。



⑪電源ケーブルを接続します。赤色ケーブルがアースとなりますのでご注意ください。

試運転を行い、動作することを確認します。



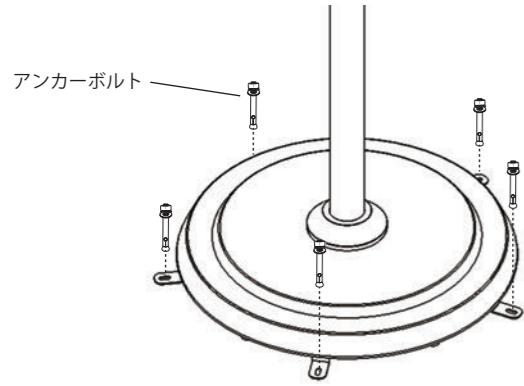
- 必ず、専用の漏電ブレーカーを設置ください。
- 本機器 1 台の定格は 200V 15A です。
- 電源ケーブルにプラグ、端子などはついていません。裸電線の状態となっています。
- 特にレンタル等、シーズン終了後に撤収する場合は、適切な電源プラグなどを設け、着脱が簡易に行えるようにしてください。
- オプションを追加設置する場合は、オプション品の施工説明に従ってください。

⑫スタンドベースを固定します。下記いずれかの方法で必ず固定してください。

◆アンカーフック固定する場合

ベースが水平になるように設置し、スタンドベース固定金具をアンカーボルトで固定して下さい。

現地にて適切なアンカーボルトをご準備願います。

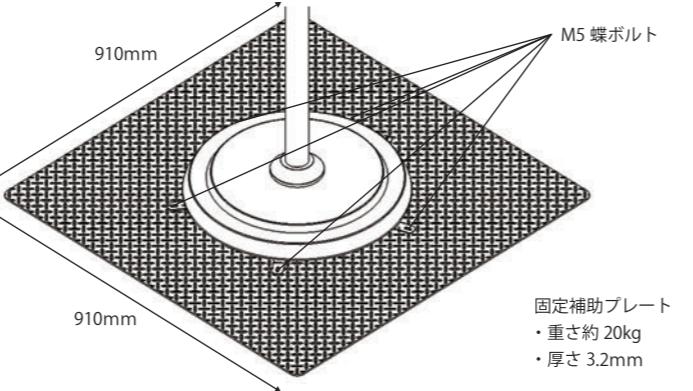


◆固定補助プレート（オプション）で固定する場合

固定補助プレートが水平になるように設置してください。

下図を参考にし、同梱されている M5 蝶ボルト 5 本で固定金具を固定補助プレートに取り付けてください。

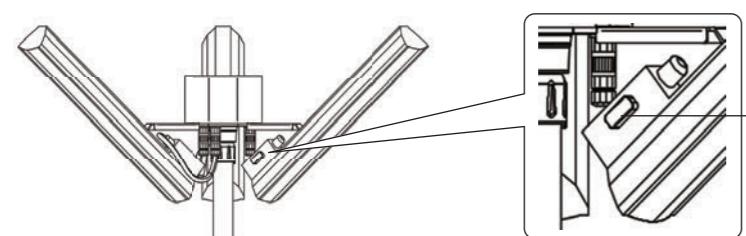
固定補助プレートに M5 のネジ穴が加工されています。



ご使用方法

①専用の電気ブレーカーが ON になっていることを確認します。

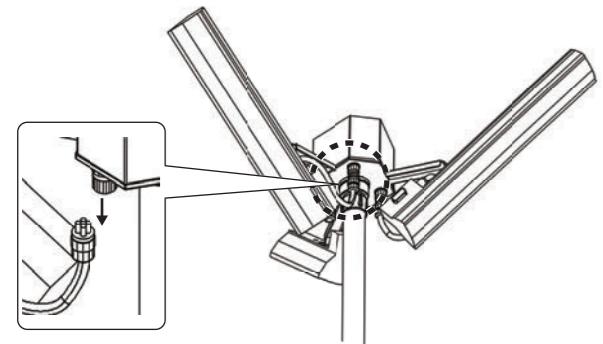
②使用するヒーターユニットの電源ボタンを押してヒーターをつけます。（ヒーターは 10 秒程度で立ち上がります。）



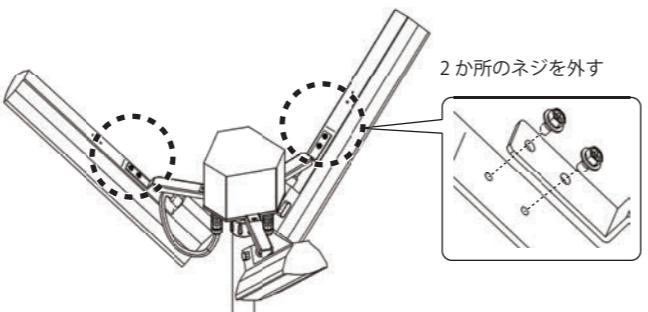
③使用後は再度ヒーターユニット電源ボタンを押して運転を終了します。

ヒーターの取り外し方

①電源コネクタを外します。



②ヒーターユニットを取り外します。



片づける際は取付とは逆の手順でハブユニット・スタンド・ポールを取り外し、室内などで保管してください。

日常のお手入れ・長期間ご使用にならない場合

・通常は乾いた布などで拭きいただき、汚れがひどい場合は、適量に薄めた中性洗剤を含ませた布で拭き取ってください。

・内部の反射鏡は網目の間からブラシなどを使用して定期的に掃除してください。また、水洗いはしないでください。

・お手入れの際は、必ず電源を切り、機器の温度が十分に下がってから行ってください。

・長期間使用しない場合、専用ブレーカーをオフにして電源ケーブルを取り外し、室内などで保管ください。

・長期間未使用が続いた後で電源 ON すると、焦げたような臭いがする場合がありますが、異常ではありません。しばらくすると消えます。

こんなときは

●ヒーターが ON にならない、放熱が弱い

・ブレーカーが OFF になっていないか確認ください。

・機器本体の切替ボタンで動作するか確認ください。

・放熱が弱い場合は、そのまましばらくお待ちになって確認ください。

・他の電源系統で動作するか確認ください。

・傾きセンサによる安全停止機能が働いた可能性があります。周囲の安全を確認し、再度電源を OFF/ON してください。

・電源電圧が 200V を下回っていないか確認ください。（解放電圧ではなく、通電状態で測定してください）

●においがする

・暖房器本体内やヒーターエレメントに付着しているほこりや異物が原因です。一度電源を切り、お手入れ方法に従ってほこりや異物などの汚れをふきとてください。

●ブレーカーが落ちる

・ブレーカーの容量を超えていると考えられます。同じブレーカーに他の機器などが接続されていないか確認ください。

修理およびアフターサービスについて

(1)修理・交換を依頼される場合：「こんなときは？」をお読みください。不具合が解消されない場合、ご購入元にご連絡いただくか、当社の修理サービス (<https://chrester.jp/>) までご連絡ください。

ご連絡の際には、機器の型式・お取付の年月日（保証書）・不具合の症状などをお知らせください。

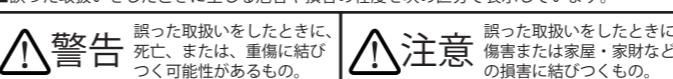
(2)補修用部品の保有期間にについて：当社ホームページでご確認ください。補修用部品とは、機器の機能を維持するための部品です。

(3)保証について：お取り付け日から 1 年間です。「お取扱店・施工店」「お取り付け日」が記載された保証書が無く、お取り付け日の確認ができない場合は、無償保証の対象とはなりませんのでご注意ください。また、お客様が分解・改造された場合は一切保証できかねます。

安全上のご注意

人への危害、財産などへの損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った取扱いをしたときに生じる危険や損害の程度を次の区分で表示しています。



■本文中に使われている図記号の意味は次のとおりです。

（○） 禁止マーク してはいけないことを示します。

（△） 注意マーク 注意することを示します。

（！） 指示マーク 必ず行うことを示します。

⚠️ 警告

（○） 禁止

絶対に改造はしないでください。

（△） 注意

濡れた手で機器を操作しないでください。
機器運転中や電源「OFF」直後は、機器表面が高温となりますので、絶対に触らないでください。
また、子供が近くに近寄らないようして下さい。

（○） 注意

機器の近くに、ガス類などの可燃物質や爆発の恐れがある物質を保管したり、使用したりしないでください。

（○） 禁止

機器の上や、機器に直接衣類等を置いて乾かしたりしないでください。

（○） 禁止

機器と壁の間や、機器の離隔距離の範囲内に物品を挟んだり、置いたりしないでください。

（○） 禁止

他の暖房機と隣接させないでください。

（○） 禁止

機器は、離隔距離を保ってご使用ください。

（○） 禁止

暖房シーズン中に清掃をする場合は、必ずブレーカーを「切」（OFF）にして、機器が冷えた状態で行ってください。

（○） 禁止

機器に異常が発生した場合は、機器の電源を OFF にしてご購入元にご連絡ください。

（○） 禁止

発熱したヒーターに直接手で触らないでください。また、長時間見つめないでください。

（○） 禁止

人の動線に十分配慮し、安全な場所に設置してください。

（○） 禁止

機器の上に乗ったり、荷重を掛けたり、物を乗せたりしないでください。

（○） 禁止

機器は塩害には対応しておりません。海岸周辺でのご利用はお控えください。

（○） 禁止

塩害による機能性能の劣化・損失は製品保証の範囲外となります。

（！） 指示

ヒーター部はガラス管のため、衝撃を与えないようご注意ください。

（！） 指示

蒸気、湯気、熱気などが直接当たる場所への設置はお止めください。

（！） 指示

機器の所有者が変わった場合には、必ず本取扱説明書を新しい所有者に引き継ぎ保管できるようにしてください。

（！） 指示

機器の設置場所周辺には、防炎仕様のものや熱で変形や変色しないものを使用ください。

（○） 禁止

アースは第三種接地工事（D 種接地）を行ってください。

（○） 禁止

電圧は定格電圧の ±10% 以内であることを確認してください。

（○） 禁止

ポールの高さ調節は、最短の状態より 20cm 以上高くしないでください。

（○） 禁止

長時間の大雨、降雪、強風時には機器が破損する恐れがあるため、室内などで保管してください。